TPM1000BZ for Trucks

取扱説明書



重要

本製品をより効率的にお使いいただくために、取扱説 明書の内容についてよくご理解してください。

この取扱説明書は、診断テストや車両故障のおおよその箇所の発見に TPM1000BZ-TR を使用するためのもので、故障を修理する方法を記載したものではありません。

本製品を使って車両の診断を行う際には、使用者は、 サービス(保守整備)マニュアルと最新の保守整備用公 示資料も参照していただくようお奨めいたします。 修理方法に関しては、製造元車両サービスマニュアル または他の故障修理の出版物でお確かめ下さい。

注意

TPM1000BZ-TRを十分に活用していただくためには、 この取扱説明書に記載されたそれぞれの車両コンピュ ータコントロールシステムを熟知し熟練されている必要 があります。

人的な傷害を未然に防ぐために、必ずパーキング・ブレ ーキを確実にかけ、また車輪止めを行い、車両の点 検・修理を行ってください。

車庫などの周囲が囲まれている空間でエンジンを作動 させたまま点検を行う際には、必ず十分な換気を行っ てください。排気ガス中には意識不明状態や死亡に至 らせる恐れのある無色無臭で非常に危険な一酸化炭 素が含まれているので、排気ガスは絶対に吸い込まな いようにしてください。

診断ケーブルを車両に接続するときは、車両のイグニ ッションスイッチが OFF の位置にあることを必ず確認し てください。イグニッションスイッチが ON の位置にある と、TPM1000BZ-TR の本体やプログラムを破壊する場 合があります。

車両の診断コネクタにケーブルがしっかりと接続されて いることを確かめてから、本製品をお使いください。 運転者は、運転中に本製品を操作しないでください。 電源電圧は DC10V 以上 32V 以下でお使いください。 ダイレクトプリンターケーブルは、指定のものをお使いく ださい。

禁止事項

ぬれた手で、本製品にふれないでください。

本体およびケーブル等を水に濡らしたり、衝撃を与えないでください。

本体およびケーブル、アダプタ等の金属端子部に直接 手を触れないでください。汚れによる接触不良や静電 気による破壊等が発生する場合があります。

車種によってサービスデータが有効ではない場合は車 両システムの変更による可能性があります。

本製品を分解・改造しないでください。

本体の SD カードスロットやカートリッジコネクタ部に異物を入れないでください。

本製品を直射日光があたる場所や高温になる場所に 置いたり、炎天下の車室内に放置しないでください。

SD カードを脱着する際は、必ず車両診断コネクタから 診断ケーブルを外した状態でおこなってください。SD カ ードを連続的に取外したり、挿入するようなことはおや めください。

本製品に別の製品のケーブルを使用しないでください。

アドバイス

本機を使用し、何度診断を試みても診断ができない場 合は、診断コネクタの接触不良および断線等が考えら れますのでご確認ください。また、サポートされていな い車両の可能性もあります。

車両側の故障診断機能の対応によってはデータ表示 の内容が正しくない場合があります。

目次

1.ご使用の前に	4
1-1 製品の構成 1-2 各部の名称	4 4
1-3 ユーザー登録 1-4 ユーザー登録の変更	4
1-5 取扱説明書のタリンロート/閲覧 2.基本的な操作	
9-1 操作パネルの説明	g
2-2 車両との接続	
2-3 メーカーの選択	10
2-4 行う作業の選択	10
2-5 故障コードの読み取り方	10
2-6 故障コードの消去の方法	
2-7 印刷の仕方 9-8 印刷ナプション (今社夕笙の印刷)	12
2.8 中病ス / 2.5 (云江石 寺の 中病)	
2·10 エンジンライブデータの見方	14
2-11 作業サポート	14
3.初期設定	15
3-1 コントラストの調整の仕方	15
3-2 OS バージョン、本体シリアル番号の確認の仕方	
4.診断ソフトのバージョンアップ方法	16
4-1 起動	16
4-2 アップデートチェック	16
4-3 アップデート案内	16
4-4 エラー	17
5.製品仕様	
6.保障	
6-1 保障期間	
6-2 保障の延長	
7.お問い合わせ先	

1.ご使用の前に

1-1 製品の構成

標準構成品	
本体	1
SD カード	1
SD カードリーダー	1
OBD II タイプ B ケーブル	1
バッテリー接続ケーブル(※1)	1
パッキングリスト・クイックスタートガイド	1

(※1)診断コネクタからTPM1000BZ-TR に電源が供給されない車両では「バッテリー接続ケーブル」を「OBD ⅡタイプBケーブル」へ接続し車両のバッテリーから電源を供給してください。

オプションプリンター構成品	
プリンター本体	1
バッテリー	1
ロール紙	1
充電ケーブル1式	1
シリアルケーブル	1
取扱説明書	1
保証書	1

本体仕様	
本体寸法	150(W)x200(H)x32(D)
本体重量	220g(SD カードなし)
電源電圧	DC10-32V
使用温湿度範囲	$0\pm50^{\circ}C(20-85\%)$
保存温湿度範囲	$-20\pm60^{\circ}C(20-85\%)$
CPU	ARM Cortex M3
ROM(OS)	256K
ROM(AP)	2GB(SD カード)
RAM	64K
外部デバイス	SD カードスロット
プリンタ用 I/F	RS232C シリアルポート
標準 I/F	CAN 、ISO9141 、KWP2000 、 J1850PWM 、 J1850VPM 、 KWP1281、DDL、MMC
LCD	160×105 ドット FSTN ホワイト バックライト
OS	オリジナル
操作キー	6 +

対応車種

いすゞ、日野、三菱ふそう、UDトラックス

1-2 各部の名称



診断ケーブル 接続コネクタ	OBDIIタイプBケーブルを接続します。
表示モニタ	診断内容を表示します。
カードスロット	SD カードを挿入します。
操作パネル	各メニューによる操作に使用します。
プリンター	オプションのプリンターを接続します。
接続コネクタ	

1-3 ユーザー登録

TPM1000BZ-TR にはご購入時に基本ソフトがインスト ールされています。時期によりますが、すでにバージョ ンアップが行われている場合がございますので、ご購 入時に一度はこの作業を行って頂く必要があります。こ のアップデートにはユーザー登録が必要ですので、必 ずユーザー登録を行ってください。

1-3-1 ユーザー登録の方法

ユーザー登録には「TPM1000 アップデート」というプログ ラムを使用して行います。このプログラムを実行するに あたり、以下の内容が必要になりますので、予めご用 意いただいてからおこなってください。

- パソコン(Windows XP/Vista/7がインストールされているもの)
- インターネット接続
- O メールアドレス
- O 付属 SD カード
- 〇 付属 SD カードリーダ

ユーザー登録する時に、インターネットを使用しますが、 セキュリティーソフトまたは、OS によって接続を遮断さ れる場合がありますので、その場合は、セキュリティー ソフトの設定や OS の設定を変更して頂く必要がありま す。

1-3-2 SD カードをパソコンに接続

パソコンに付属の SD カードを SD カードリーダを使用して接続します。(パソコンにカードスロットが装備されているパソコンの場合は、付属のカードリーダーを使用する必要はありません。

※ご購入時期でカードリーダーが異なる場合がありま す。



1-3-3「TPM1000 アップデート」の実行

SD カードには、自動再生に対応したファイルが含まれ ています。自動再生が"ON"の状態では「自動再生」の ウィンドウが表示されます。これは、OS により異なりま すので、OS にあった方法で「TPM1000 アップデート」を実 行してください。

Windows XP の場合

自動再生の設定が"ON"の状態の場合、ウィンドウが 表示され、実行する動作の欄に「TPM1000 アップテート」 が表示されますので、「TPM1000 アップテート」をクリック して[OK]ボタンをクリックします。



自動再生が"OFF"の場合は、[マイコンピュータ]-[リム ーバブル ディスク](SD カードが挿入されているドライ ブを開いて「tpm1000.exe」を実行してください。

Windows VISTA の場合

自動再生の設定が ON の状態の場合、ウィンドウが表示され、実行する動作の欄に「TPM1000 アップデート」が 表示されますので、「TPM1000 アップデート」をクリックします。



自動再生が"OFF"の場合は、[マイコンピュータ]-[リム ーバブル ディスク](SD カードが挿入されているドライ ブを開いて「tpm1000.exe」を実行してください。

Windows 7 の場合

Windows 7 の場合、自動再生を制限していますので、 起動した最初の画面より 「スタートメニュー」→「コンピューター」→「リムーバブル ディスク」を開いてください。

ウィンドウが表示され、SD カードの内容が表示されて から、「tpm1000.exe」をダブルクリックして起動します。



で、「登録内容変更」をクリックします。

ユーザー登録	
お名前	電話
TPM1000	03-3769-6880
会社名	ファックス
株式会社バンザイ	03-3456-4691
代理店名	メールアドレス
株式会社バンザイ	info@banzai.co.jp
(主所 1050014	
東京都港区芝2-31-15	
	送信 中止

登録内容が何も入力されていない場合は入力を行い [送信]ボタンをクリックします。

※メールアドレスを間違えると認証確認メールがお客様の元へ届きませんので、間違えないようにしてください。



1-3-3「TPM1000 アップデート」が起動します。



この時点で「本体シリアル NO」と「パスワード」が入力されています。一度も「TPM1000 アップデート」から登録がされていないとアップデートはできません。この状態

1-3-4 認証確認メールをチェックします。

(認証作業)

メールソフトを起動してメールを受信してください。 登録されたメールアドレスへ「認証確認」のメールが送 信されますので、このメールを開いて、下線の引いてあ る場所をクリックします。

登録認証確認 下記リンクをクリックすると認証が完了します。

http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=7c920aa97a57b7acdbced538ab3ad44f

クリックすると標準で使用しているブラウザが起動して、 認証確認のメッセージが表示されます。

Google	
🖌 🏟	# http://www.scantool.jp/script/confirm.php?

これで認証作業が終了し、アップデートが可能になりました。



1-4 ユーザー登録の変更

ユーザー登録内容の変更の仕方

ユーザー登録は使用者(会社)の変更がある場合に行ってください。変更する場合は、[登録内容変更]ボタンをクリックし内容を変更して認証作業を行ってください。

ユーザー登録	×
お名前	電話
TPM1000	03-3769-6880
会社名	ファックス
株式会社バンザイ	03-3456-4691
代理店名	メールアドレス
株式会社バンザイ	info@banzai.co.jp
(主所 1050014	
東京都港区芝2-31-15	
	送信 中止

1-5 取扱説明書のダウンロード/閲覧

取扱説明書は、ダウンロード形式でご覧いただけます。 取扱説明書は、PDF ファイルとなっています。ご覧になるには、Adobe(R)Reader(R)が必要です。

TPM1000 アップデート画面で[取扱説明書]をクリックします。

TPM1000 アップデート	
診断ソフトダウンロード:	本体シリアルNO
サーバーに接続しています	 08-000000
	パスワード
	••••••
	アップデートチェック
	🔲 アップデート案内
	登録内容変更
	取扱説明書
	終了

ダウンロードが開始されます。

TPM1000 アップデート	
診断ソフトダウンロード:	本体シリアルNO
取扱説明書ダウンロード	▲ 08-000000
	パスワード
	•••••••
	アップデートチェック
	□アップデート案内
	登録内容変更
	- 取扱説明書
1063/1127	
	終了

ダウンロードが完了すると保存場所を聞いてきますの で、任意の場所へ保存してください。

名前を付けて保存		×
	▼ 49 検索	Q
ファイル名(N): TPM1000_banzai_v1002		-
ファイルの種類(工): PDF Document (*.pdf)		-
 フォルダの参照(<u>B</u>) 	(保存(S)	キャンセル

保存した場所からファイルを開いていただくことで、取 扱説明書をご覧いただけます。



2.基本的な操作

※診断メニューには、いすゞを例に説明しています。 ※診断は<u>イグニッション・オン</u>の状態で行って下さい。

2-1 操作パネルの説明

+-	内容
矢印	各メニューのカーソルの移動または変更
YES	「はい」、「実行」、「進む」
NO	「いいえ」、「中止」、「戻る」
	BANZAI TI CODE READER plus+
	YES
	ΝΟ
2−2 車両	との接続
イグニッション ーブルを接線 ※診断コネク	ン OFF の状態で TPM100BZ-TR と診断ケ 売し、車両の診断コネクタに接続します。 フタの位置は車両により、異なります。

接続が完了すると、TPM1000BZ-TR の電源が入り、初

期画面が表示されます。

イグニッションキーをONIこします。

(一部、診断コネクタからTPM1000BZ-TR に電源が供給されない車両の場合は、付属のバッテリー接続ケーブルを使用して電源を供給してください)







2-5 故障コードの読み取り方



全自己診断	
システム選択 エンジン ABS エアバック 全自己診断	 車両の全システム の自己診断を行う 場合は、[全自己診 断]を選択して [YES]ボタンを押し ます。
車両搭載システム確認中 しばらくお待ち下さい 10%	② 車両に搭載されて いるシステムを一 つずつ読取ってい きます。

	③異常なしの状態 になりました。 確認してください。	2-6 故障コードの消去の	D方法
** 異常なし **		個別自己診断の故障コート	消去
<u>データ 保存</u> 印刷		エンジン 現在故障コードの読取 過去故障コードの読取 未確定故障コードの読取 <mark>故障コードの消去</mark> データモニタ	① 個 別 の 故 障 コ ー ド で、 [故障 コ ー ド の 消 去]を選択して [YES] ボタンを押します。
		自己診断の消去	② 「自己診断の消去」 画面が表示されま すので、実行する場
		「YES」 ボタンで実行 「NO 」 ボタンで中止	合は[YES]、中止の 場合は、[NO]を押し ます。
		自己診断の消去中	③ 自己診断の消去が 始まります。
		消去完了	④ 消去が完了すると、 「消去完了」の画面 が表示されます。

全自己診断の故障コード消去			 (2) 印刷が開始される
3 システム異常あり! 診断結果 印刷 データ保存	 ① 全自己診断の消去 は[全自己診断の消 去]を選択して[YES] ボタンをおします。 	印刷中	と、「印刷中 しばら くお待ち下さい」の 画面が表示されま す。
全自己診断の消去	2	全自己診断の印刷	
全自己診断の消去	「全自己診断の消 去」画面が表示され ますので、実行する 場合は[YES] 中止	3 システム異常あり! 診断結果	① 車両の全システムと 通信を行った後、 「印刷」を選択して
FYES」 前効で実行 「NO 」 前効で中止	の場合は、[NO]を 押します。	144日 データ保存 全自己診断の消去	[中間]を返放して [YES]ボタンを押し ます。
全自己診断の消去: エンダッン	③ 「全自己診断の消 去」は故障コードを システムごとに消去 していきます。	印刷中	② 印刷が開始される と、「印刷中 しばら くお待ち下さい」の 画面が表示されま す。
3 システム異常あり! 診断結果 印刷 データ保存 全自己診断の消去	④ 消去が完了すると、 前の画面に戻りま す。		



2-9 保存について 2-8 印刷オプション(会社名等の印刷) 故障コードやデータを印刷する場合、会社名、住所、電 保存先 話番号などを一緒に印刷する事ができます。 (1) (1)パソコンにて 更新日時 種類 サイズ 故障コードやデータ SD カード内容を表示し、「header.txt」を表示させます。 表示などで、[保存] を選択した場合に •) · コンピュータ · リムーバブル ディスク(1:) • 4• 接来 6x12Data bin 8x16Data.bin Reports appda は、SD カード内の N 100 - 10 3 🖲 1944 「Reports」フォルダ F#1×ント 0 内に保存されます。 ipì.bin TP 副 ピクチャ \mathbf{r} Ð 8x16Data 6x12Data.bi 日 ミュージック 旧 最近の変更 daihatsu header honda hone 图 株式 OBD-11.5200 保存されたファイル 0 בעניטו l はhtmlファイルにな 1.5200 っていますので、ご 8 IPeriodo サイズ タグ 使用のブラウザ(ホ e ームページをご覧 292"3.5200 1" 117.5200 135.5200 になる時に使用す rt-001 Report-00 フォルダ 27 個の項目 るプログラム)で表 8 示可能です。 ※保存されるファイ (2) ルは診断中に[保 存]を押した回数分 「header.txt」の内容を以下を参考に変更してください。 l 保存されます。 変更した内容が、印刷されます。 9 · 10 · 13 # · K-S(P) · t-7 header - メモ帳 C:WtmpW01-000532W ort-0 TPM1000 故障診断レポート ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H) 1-1- 729" >BMP:TPM1000.bmp -変更しません 5 **ラステム 状態** 1 / 1 P0705 1050014 東京都港区芝2-31-15 株式会社バンザイ TCM トランスレンジーゼンオ系統の範囲不具合 3行目以降を 変更したい TEL:03-3769-6880 FAX:03-3456-4691 内容へ編集 します。 http://www.banzai.co.jp/ ** コンビュータ診断レボート ** 全角で最大15文字まで

ь

4



2-11 作業サポート

車両に「作業サポート」がある場合にはサポートの実行 や設定・変更等が可能です。

	サホ⁰ートしていません	接続している単両に 「作業サポート」が ない場合はこの画 面が表示されます。
サポートしていませんの面が表示されます。		 接続している車両に 「作業サポート」が ない場合はこの画
	サポートしていません	面が表示されます。



3.初期設定

3-1 コントラストの調整の仕方

設定では、液晶のコントラスト調整が行えます。 液晶は温度により表示濃度が変化しますので、表示が 見えにくい場合は、次の方法で調整してください。



3-2 OS バージョン、本体シリアル番号

の確認の仕方

TPM1000BZ-TR は本体に入力してあるシリアル番号を 表示することができます。

シリアル番号が必要な場合は、次の方法で確認ができ ます。





「本体 ID」画面が表 示され、[本体シリアル 番号]と[os バージョン] が表示されます。

4.診断ソフトのバージョンアップ方法

診断ソフトのアップデートは、「TPM1000 アップデート」を 使用して、アップデート用サーバーに直接接続し、バー ジョンアップのソフトが存在する場合は自動で行いま す。

4-1 起動

本体から SD カードを抜き取り、パソコンへ接続します。 パソコンが認識すると、自動再生でメニューが表示され ます。各 OS の自動再生方法は「1.3 ユーザー登録」の 項目で確認してください。

4-2 アップデートチェック

アップデートチェックは各 OS 同じ方法でアップデートの チェック、アップデートが行われます。



2

アップデートソフトが存在する場合は自動的にダウンロードして SD カードへ書き込みを開始します

診断ソフトダウンロード: ダウンロードソフト: fuso \MFD_CCOMB.dat - 267776 bytes OK ダウンロードソフト: fuso \MFD_CDW.dat - 272384 bytes OK ダウンロードソフト: fuso \MFD_CEZGO.dat - 294912 bytes OK ダウンロードソフト: fuso \MFD_CMPI.dat - 476672 bytes OK ダウンロードソフト: fuso \MFD_COMB.dat - 281088 bytes	^	本(キシリアルNO 08-000000 パスワード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
OK ダウンロードソフト: fuso WFD_CRAD.dat - 265216 bytes OK ダウンロードソフト: fuso WFD_CRET.dat - 264192 bytes OK ダウンロードソフト: fuso WFD_CSCR.dat - 271360 bytes OK ダウンロードソフト: fuso WFD_C_C.dat	H	 □ アップデート案内 登録内容変更 取扱説明書

アップデートが完了すると、「アップデートの完了」のメッ セージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしま す。

TPM1000	
(i)	アップデート完了
	ОК
③TPM1000 アップデ	一トの終了

アップデートのチェック、アップデートが完了し、終了する場合は、[終了]ボタンをクリックして終了します。

4-3 アップデート案内

「TPM1000 アップデート」でアップデート案内を希望される 場合は、ソフトの[アップデート案内]のチェックボックス に入力して頂くと、アップデートソフトが配信可能になり 次第、登録メールアドレスへメールが届くようになりま す。



4-4 エラー

下記のエラーが表示された場合、次のような原因が考えられます。

- ・ SD カードの書き込み禁止(Lock)されている。
- ・ SD カードがパソコンから接続解除されている。

違うアプリケーションが SD カードを使用している。
 問題のある場所を確認してもう一度やり直してください。



5.製品仕様

使用条件	仕様
旧中	動作温度:約0℃から40℃
<i>恤</i> 反	保管温度:約-20℃から50℃まで
	動作湿度:約40℃の温度で15%から95%
相対湿度	まで(結露なきこと)
	保管湿度:約 50℃の温度で 90%(結露な
	きこと)

6.保障

・TPM1000BZ-TR は、お客様がインターネットを使用し てユーザー登録した日を開始日として 12 ヶ月間にわた り、材料と製造上の欠陥に対し保証されています。但し、 保証期間はインターネットを使用して、正しくユーザー 登録されている場合にのみ有効です。

・保証期間内に正常な使用状態での使用にて故障した場合は、無償修理いたします。

・火災、天災による故障の場合は保証外となります。
・本保証は、乱用、改造、あるいは意図された用途以外の目的に使用されたり、使用方法に関する取扱説明書に一致しない方法で使用されていたいかなる部品に対しても適用されません。これには本製品に使われているあらゆるネジの取り外しが含まれます。(ただし、それに限定されるものではありません)

・原則的に本製品は現品修理となります。

・お買い上げになりました TPM1000BZ-TR 本体、SD カ ード、ケーブル、アダプタを修理のために送付しなけれ ばならない場合の往復運賃はお客様の負担となりま す。

6-1 保障期間

1 年間

6-2 保障の延長

2 年目以降ソフトのダウンロードを延長される場合、保 証も自動に延長されます。

※詳しくは販売店へお問い合わせ下さい。

7.お問い合わせ先

製品の取り扱いに関するお問い合わせ並びに診断 不可車両がございましたら自動車検査証など自動車の情 報が分かるものをご用意の上、お買い上げの販売店また はバンザイ各事業所までご連絡ください。

なお、故障コードに対する修理方法等は、返答しかねます ので、車の修理書等をご覧頂く様、予めご了承願います。

[販売元]株式会社バンザイ ■札幌支店 (管轄エリア:北海道) 〒063-0801 札幌市西区 24 軒1条 7-3-10 TEL(011)621-4171 ■仙台支店 (管轄エリア:宮城 青森 秋田 岩手 山形 福島) 〒983-0005 仙台市宮城野区福室 2-8-21 TEL(022)258-0221 ■関東支店 (管轄エリア:埼玉 千葉 群馬 茨城 栃木 長野 新潟) 〒364-0011 北本市朝日 4-553 TEL(048)590-3700 ■東京支店 (管轄エリア:東京 神奈川 静岡 山梨) 〒105-8580 東京都港区芝 2-31-16 TEL(03)3769-6840 ■名古屋支店 (管轄エリア:愛知 岐阜 三重 富山 石川 福井) 〒460-0011 名古屋市中区大須 1-29-36 TEL(052)201-7551 ■大阪支店 (管轄エリア:大阪 奈良 和歌山 兵庫 京都 滋賀 香川 徳島 愛媛 高知) 〒577-0012 東大阪市長田東 3-3-11 TEL(06)6744-1041 ■広島支店 (管轄エリア:広島 岡山 山口 島根 鳥取) 〒733-0035 広島市西区南観音 2-7-10 TEL(082)233-3201 ■福岡支店 (管轄エリア:福岡 大分 長崎 熊本 佐賀 宮崎 鹿児島 沖縄) 〒812-0893 福岡市博多区那珂 5-3-15 TEL(092)411-1261

■本社

〒105-8580 東京都港区芝 2-31-19 TEL(03)3769-6880

[製造元] 株式会社ツールプラネット 〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町 43-2 TEL(058)246-1733

TPM1000BZ for Trucks

メーカー別取扱説明書

2012年05月



●安全にお使いいただくために

重要

- ・本製品をより効率的にお使いいただくために、メーカー別取扱説明書の内容についてよくご理解してください。
- ・この取扱説明書は、診断テストや車両故障のおおよその箇所の発見に TPM1000BZ-TR を使用するためのもので、故障を修理する方法を記載したものではありません。
- ・本製品を使って車両の診断を行う際には、使用者は、サービス(保守整備)マニュアルと最新の保守整備用公示資料も参照していただくようお奨めいたします。
- ※DPF強制燃焼等の作業はサービス(保守整備)マニュアルと最新の保守整備用公示資料を理解せず行ないますと、 車輌にダメージを与える可能性がありますので、必ずサービス(保守整備)マニュアルと最新の保守整備用公示 資料等を参照の上、行っていただくようお願いします。 修理方法に関しては、製造元車両サービスマニュアルまたは他の故障修理の出版物でお確かめ下さい。

注意

- ・TPM1000BZ-TR を十分に活用していただくためには、このメーカー別取扱説明書に記載されたそれぞれの車両コン ピュータコントロールシステムを熟知されている必要があります。
- ・人的な傷害を未然に防ぐために、必ずパーキング・ブレーキを確実にかけ、また車輪止めを行い、車両の点検・修 理を行ってください。
- ・車庫などの周囲が囲まれている空間でエンジンを作動させたまま点検を行う際には、必ず十分な換気を行ってくだ さい。排気ガス中には意識不明状態や死亡に至らせる恐れのある無色無臭で非常に危険な一酸化炭素が含まれてい るので、排気ガスは絶対に吸い込まないようにしてください。
- ・診断ケーブルを車両に接続するときは、車両のイグニッションスイッチが OFF の位置にあることを必ず確認してください。イグニッションスイッチが ON の位置にあると、TPM1000BZ-TR の本体やプログラムを破壊する場合があります。
- ・車両の診断コネクタにケーブルがしっかりと接続されていることを確かめてから、本製品をお使いください。
- ・運転者は、運転中に本製品を操作しないでください。
- ・電源電圧はDC10V以上32V以下でお使いください。
- ・ダイレクトプリンターケーブルは、指定のものをお使いください。

禁止事項

- ・ぬれた手で、本製品にふれないでください。
- ・本体およびケーブル等を水に濡らしたり、衝撃を与えないでください。
- ・本体およびケーブル、アダプタ等の金属端子部に直接手を触れないでください。汚れによる接触不良や静電気による破壊等が発生する場合があります。
- ・車種によってサービスデータが有効ではない場合は車両システムの変更による可能性があります。
- ・本製品を分解・改造しないでください。
- ・本体のSDカードスロットやカートリッジコネクタ部に異物を入れないでください。
- ・本製品を直射日光があたる場所や高温になる場所に置いたり、炎天下の車室内に放置しないでください。
- ・SD カードを脱着する際は、必ず車両診断コネクタから診断ケーブルを外した状態でおこなってください。SD カードを連続的に取外したり、挿入するようなことはおやめください。
- ・本製品に別の製品のケーブルを使用しないでください。

アドバイス

本機を使用し、何度診断を試みても診断ができない場合は、診断コネクタの接触不良および断線等が考えられますのでご確認ください。また、サポートされていない車両の可能性もあります。

車両側の故障診断機能の対応によってはデータ表示の内容が正しくない場合があります。

本説明書につきまして

本説明書ではTPM1000BZ-TRを使用して行なう作業の一部を紹介しております。またUDトラックスに関しましてはOEM先のメーカーをご覧下さい。

例、UDトラックス型式:4JJ1・4HK1→いすゞ診断ソフト説明参照
 UDトラックス型式:J05E・J07E・J08E→日野診断ソフト説明参照等

目次

TPM1000BZ-TR いすゞ診断ソフト	,
診断	2
各作業サポートの内容	,
作業サポート DPD 強制再生(4JJ1の場合)	j
作業サポート DPD 強制再生(4HL1 の場合)8	5
作業サポート DPD ゆっくり再生(4JJ1 の場合)10)
作業サポート DPD 再生データリセット12	
作業サポート フューエルポンプ調整リセット13	j
作業サポート パワーバランス	
作業サポート インジェクタテスト15)
作業サポート インジェクタ補正16	j
TPM1000B7-TR 日野診断リフト 18	
	,
	1
TPM1000BZ-TR 三麦ふそう診断ソフト19	ļ

基本探作		
作業サポート	DPF	
作業サポート	エンジン ECU リセット	
作業サポート	パワーバランス	
エンジン デー	-タモニタ	23



いすゞ診断ソフト





09 アクセルペダルを踏 み、エンジン回転を 2000rpm ± 50rpm 以内に調整 してください。	DPD 強制再生 浄化判定中 Iンダン回転数を 2000 rpm に 設定して下さい Iンダン回転数: 1001 RPM <mark>排気温度2 (酸化触媒前)</mark> 排気温度1 (740-前)
10 アクセルペダルを戻 し、アイドリング状態 にして下さい。	DPD 強制再生 お待ち下さい Iンダン回転数をアイトリングスピード にして下さい Iンダン回転数: 1001 RPM <mark>排気温度2 (酸化触媒前)</mark> 排気温度1 (1 <mark>7109-前)</mark>
11 正常に終了しました。 エンジンオイル量を 点検し、エンジンオイ	再生完了!!
ルの量が多い場合は エンジンオイルを交 換して下さい。	「NO」が妙で戻る

 作業サポートの場合) -コードリーダーの準 1. イグニッション・キロ2コネクターには 2. 本体の電源が入らた 	DPD 強制再生 (4HL1 備- F-OFFの状態で車輌のOB 接続します。 みい場合、バッテリーケーブル	04 作業サポートのエン ジン項目から"DPD 強制再生"を選択し、 IYES」ボタンを押 す。	エンシン作業サホ ⁰ ート DPD 強制再生 DPD 再生デー划セット エンシン始動回数 スタータ交換後エンシン始動回数 インシ ¹ ェクタ補正
を接続します。(1) ません。) フィルターの詰まり具行 ルからの指令で強制的(2V推奨 / 24Vどちらでも構い 合を点検するとき、スキャンツー に DPD を再生させる。	05 実行前にメーカー発 行の整備書を必ず熟 読して行ってくださ い。この画面は3秒間 保持されます。3秒以	**重要!!** この機能は車両の状態によっ て火災や触媒にダメージを与え る可能性があります。整備書 を確認して十分に理解した 上自己責任で行って下さい 「YES」: 同意する 「NO」: 同意しない
再生前にDPD再生 の1 作業サポートのエン ジン項目から"DPD 再生データリセッ ト"を選択し、「YES」 ボタンを押す。	エンシン作業サホペート DPD 強制再生 DPD 再生デー切セット エンシン始動回数 スタータ交換後エンシン始動回数 インジェクタ補正	内に操作しても操作 できません。 06 警告画面を確認後、 エンジンを始動して 「YES」ボタンをお します。	警告!! DPDの再生画面上でコネクターを 外さないでください 「YES」: 同意する 「No」: 同意しない
02 確認画面が表示しま す。 「YES」ボタンを押 す。	確認!! キ-ON、エンジン停止のみ機能 します 「YES」: 次へ 「NO」: 戻る	07 エンジン回転を確認 しています。	DPD強制再生 確認! エンシン回転数(450-750 RPM) エンシン回転数:660RPM 「NO」:キャンセル
U3 リセットが完了した ら、イグニッショ ン・スイッチを一度 OFFにして5秒間 待ちます。 「YES」ボタンを押 す。	リセット完了!! イゲニッションスイッチをOFFにして 5秒間お待ち下さい 「YES」: 次へ 「No」: 戻る	再生異な 可能な DTC な 「ト	常終了 強制再生が不 汝障を検出しました。 を確認してください。 ™ 」ホ汝ンで戻る
注意		エン 画画 エラー画面が表示され	た場合は、故障コードを確認し、



必要に応じて点検、修理を行って下さい。その後、再

度 DPD 再生リセットから順に行って下さい。





10 アクセルペダルを戻 し、アイドリング状態 にして下さい。	DPD 強制再生 お待ち下さい Iンダン回転数をアイドンングスピード にして下さい Iンダン回転数: 1001 RPM 排気温度2 (酸化触媒前) 排気温度1 (フィルター前)
11 正常に終了しました。 エンジンオイル量を 点検し、エンジンオイ	再生完了!!
ルの量が多い場合は エンジンオイルを交 換して下さい。	「NO」が効で戻る

作業サポート DPD 再生データリセ ット

-コードリーダーの準備-

- イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB D2コネクターに接続します。
- 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構い ません。)

DPD 交換時、DPD 再生データをリセットする際に使用 する。



作業サポート フューエルポンプ調 整リセット

-コードリーダーの準備-

- 1. イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB D2コネクターに接続します。
- 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構い ません。)

サプライポンプもしくはエンジンを交換したり、他の車両の ECM を取り付けるときは、「フューエルポンプ調整リセット」を行う必要がある。



作業サポート パワーバランス

-コードリーダーの準備-

- 1. イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB D2コネクターに接続します。
- 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構い ません。)

このテストの目的は、ON/OFF を指示したときにインジェクターが作動するかどうかを確認することにある。 OFF が指示されても、エンジン回転数、振動の変化が見られないときは、インジェクターに異常があることが考えられる。



05

右矢印ボタンで次の シリンダーに切り替 え「YES」ボタンでイ ンジェクタを停止し ます。



作業サポート インジェクタテスト

-コードリーダーの準備-

- 1. イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB D2コネクターに接続します。
- 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構い ません。)

このテストの目的は、ONを指示したときにインジェク ターが正常に作動するかどうかを確認することにある。 ONが指示されたときに「カチッ」という作動音(ソレ ノイドが作動する音)が鳴らず、異常音が聞こえたとき は、インジェクターの異常が考えられる。



05

右矢印ボタンで次の シリンダーに切り替 え「YES」ボタンでイ ンジェクタを強制駆 動します。



作業サポート インジェクタ補正

-コードリーダーの準備-

- イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB D2コネクターに接続します。
- 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構い ません。)

ECM によって制御される電子制御式インジェクターは、 従来の噴射ノズルと比べると、コマンドピストン、ソレ ノイドバルブ等が追加されている。インジェクター特性 を表示する ID コード(24個の英数字)に記されている。 このシステムでは、インジェクター流量情報(ID コード) を使用して、噴射量制御を最適化している。インジェク ターを車両に新しく取り付けた際は、ECM に ID コード を入力する必要がある。

インジェクターにある2次元バーコードまたはIDコードはインジェクターの噴射量精度を向上するために使用される。コードを使用することで、すべての圧力域で噴射量の分散制御を可能にし、燃焼効率の向上、排気ガスの削減およびあらゆる出力の安定に貢献する。





10 条件を確認後、「YES」 ボタンを押す。	IDコートをECU(ご書き込みます 注意! がコッションON、Iンシン停止で 実施して下さい 「YES」:開始
11 一度イグニッション スイッチを OFF にす る必要があります。	IDコードの書き込みが終了しま した。 IDコードの書き込みを完了する ためにイグニッションをOFF(こした 後に、「YES」ボタンを押して下 さい
12 0 秒になると書き込 み終了です。	しばらくお待ち下さい 6 秒で終了

TPM1000BZ-TR 日野診断ソフト		
フリーズフレー	ームデータ表示	
 -コードリーダーの準備- 1. イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB D2コネクターに接続します。 2. イグニッション・キーONで診断します。 		
01 "診断"メニューを選 択し「YES」ボタンを 押す。	日野 メインメニュー 診断 カスタマイス [®] 作業サホ [®] ート	
02 "エンジン"を選択 し、「YES」ボタンを 押す。	<u>システム選択</u> エンシン RBS-/VSC エアパッグ 全自己診断	
03 故障コードを確認し てコードがメモリー されている場合、フ リーズフレームも同 時に保存されます。 "フリーズフレーム"	エンジ ^ン 現在故障コードの読取 過去故障コードの読取 故障コードの消去 データモニタ フリーズ・フレーム	
に合わせ「YES」ボタ ンを押す。	エンジン 現在故障コードの読取 過去故障コードの読取 故障コードの消去 データモニタ フリーズ・フレーム	
04 メモリーされている フリーズフレームを 選択し、「YES」ボタ ンを押す。	フリース [・] フレーム P0113 フリース [・] フレーム P0113 フリース・フレーム	

05 故障発生時のエンジンデ ータを表示します。 表示したデータを印刷す るか保存して、詳細を確認 します。	P0113 フリースウレーム F4B実施状態B1 OL F4B実施状態B2 Unused Iンシン負荷 0.0 × Iンシン冷却水温 -40 ° C 空燃費F4B値B1 0.0 × データ保存 印刷 ▼
06 保存を選択した場 合、SD カード内 の"Report"ファイル に順番に保存されて いきます。	デ [*] ータを保存しました Hino_FreezeFrame=001 「YES」ホタンを押してください

TPM1000BZ-TR 三菱ふそう診断ソフト 03 TPM1000 メニュー "診断"を選択し、 診断 基本操作 「YESIボタンを押す。 設定 本体 10 三菱ふそう診断時の注意事項 通常のOBD2診断カプラーからエンジンしか通信で きない場合に運転席または、助手席背もたれ後ろに、 04 赤色カプラー、黒色カプラーが有る可能性があります。 メーカー選択 "三菱ふそう診断ソフ いすゞ診断ソフト 青色カプラー: ト"を選択し、「YES」 日野診断ソフト エンジン、トランスミッション、オートクルーズ、ISS、 ボタンを押す。 統合制御、モーターコントロール、バッテリーコント 三菱ふそう診断ソフト D-JL SCR UD トラックス診断ソフト 赤色カプラー: 05 サスペンション、ABS/ASR、EZGO、MBECS、リタ ーダ、イモビライザ、エアバッグ、エアコン、SWS、 ソフトのバージョン MDAS、車間距離警報、パルスコンバータ、MILS、へ 三菱ふそう診断ソフト が表示されます。 1.61 ッドランプオートレベリング 黒色カプラー: Aug 11 2011 ドライブレコーダー用(使用しない) 06 -コードリーダーの準備-三菱 ふそう メインバニュー "診断"または"作業サ 1. イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB 診断 ポート"を選択し、 D2コネクターに接続します。 作業サポート 「YESIボタンを押す。 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構いませ ん。) 07 システム選択 01 W Q. 診断の場合、エンジ エンジン ン、ABS、エアバッグ 診断コネクター(1) ABS/VSC 青色カプラー を診断の場合、直接選 黒色または青色 ・エンジン ・トランスミッション ・オートクルーズ エアバッグ 択し、「YESIボタンを 全自己診断 ISS 総合制御 押す。 ・モーターコントロール ・バッテリーコントロール ・SCR 02 赤色カプラー 08 赤色力プラー・ サスペンション・ ABS/ASR EZGO MBECS リターダ イモビライザ エアパッグ エアコン SES MDAS 車間距離警報 パルスコンバータ MILS Ø システム選択 診断コネクター(2) エンジン、ABS、エア エンシン 赤色と黒色(黒色は使 バッグ以外のシステ ABS/VSC 用しません。) ムを診断する場合は、 エアバッグ "全自己診断"を選択 全自己診断 MILS ヘッドランプオートレベリング し、「YES」ボタンを押

す。



作業サポート エンジン ECU リセ ット

-コードリーダーの準備-

- 1. イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB D2コネクターに接続します。
- 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構い ません。)

01 "作業サポート"を 選択し、「YES」ボタ ンを押す。	三菱 ふそう メインメニュー 診断 作業サポート
02 "エンジン"を選択 し、「YES」ボタンを 押す。	作業サポート エンジン エアハ [*] ック
03 "ECU リセット"を 選択し、「YES」ボタ ンを押す。	エンジン作業サポート DPF強制再生 ECU リセット
04 "DPF 関連情報-メ モリーあり"の場 合、「YES」ボタンを 押す。 "DPF 関連情報-メ モリーなし"の場 合、「NO」ボタンを	ECU リセット DPF 関連情報 - メモリなし
押して終了して下さい。	

05 (メモリーありの場合) 条件を確認後、 「YES」ボタンを押 す。	DPF 関連情報 確認! - イクニッションON エンシン停止 「YES」ホタンを押して下ざい
06 正常に終了しまし た。「YES」ボタンを 押す。	正常に終了しました。 「YES」 ホタンを押して下ざい

作業サポート パワーバランス

-コードリーダーの準備-

- 1. イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB D2コネクターに接続します。
- 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構い ません。)

01 "作業サポート"を選 択し、「YES」ボタン を押す。	三菱 ふそう メインメニュー 診断 作業サポート
02 "エンジン"を選択 し、「YES」ボタンを 押す。	作業サポート エンシン エアバッグ
03 "パワーバランス"を 選択し、「YES」ボタ ンを押す。	エンジン 作業サポート パワーパランス
04 「YES」ボタンを押す とシリンター1のイ ンジェクタの作動を 停止します。	<u>パワーパランス</u> エンシン回転数 日標噴射量 3.0× インジェクタ:1
05 停止中は"シリンタ ー1"が黒く反転して います。	<u>パワーパランス</u> エンシン回転数 765 rpm 目標噴射量 5 × <u>インジェクタ: 1</u>

06

右矢印ボタンで次の シリンダーに切り替 え「YES」ボタンでイ ンジェクタを停止し ます。



エンジン データモニタ 06 データモニタ "開始"を選択し エンシン回転数 -コードリーダーの準備-0 rpm 「YES」ボタンを押 1. イグニッション・キーOFFの状態で車輌のOB 目標噴射量 すと選択した デ D2コネクターに接続します。 "停 ータ項目を 2. 本体の電源が入らない場合、バッテリーケーブル 止"を押すまで保存 全選択 + 開始。 を接続します。(12V推奨 / 24Vどちらでも構いませ を続けます。 ん。) 07 データモニタ "停止"が選択され エンシン回転数 01 0 rpm た状態で [YES] ボ エンジン 目標噴射量 タンを押すと連続 エンジンの機能か 現在故障コート読取 0 × 0 データ保存を停止 ら"データモニタ" 過去故障コート読取 を選択し、「YES」 します。 故障コードの消去 00:01.08 停止 ボタンを押す。 データモニター **08** データを保存しました SD カード内 02 "Report"フォルダ データモニタ Fuso_Engine_Datastream-001 エンシン回転数 内に順番に保存さ 必要に応じエンジ 0 rpm ンを始動してくだ れます。 目標噴射量 さい。 $0 \times$ 「YES」ボタンを押してください 印刷 データ保存 - I . 03 データモニタ SD カード内に保 エンシン回転数 0 rpm 存する場合、保存 目標噴射量 したいデータ項目 0 × 0 を1項目ずつ"+" を選択し、「YES」 全選択 # 開始 ボタンを押す。 04 データモニタ データ項目を削除 エンシン回転数 0 rpm したい場合は、"-" 目標噴射量 を選択し、「YES」 o × ボタンを押す。 全選択 開始 05 データモニタ "全選択"を選択し エンシン回転数 0 rpm 「YES」ボタンを押 目標噴射量 すと全データ項目 0 % を一度で選択でき ます。 全選択 - 開始 -